京城日報
本日朝刊夕刊共六頁

【社說】寄附金の統制

一

總督府が民間における寄附金の統制に乘出したことは頗る時宜的な措置として大いに賛成するものである。卽ちその方法は田中政務總監を委員長とする寄附金審査委員會を設置して、寄附統制要綱を決定し、その要綱を基準として寄附金の申請に嚴格なる審議を加へ、その要否を判定、許可、不許可を決定するといふのであるが、その統制の方法はとにかくとして、總督府のかゝる意向が明示されただけでも効果は非常に大きいと思はれる。卽ち出來ることならこのやうな總督府の手を煩はさなくとも、寄附を募集する側のものが自制して、自らそこに統制が行はれるといふ事態が最も望ましいのである。

二

しかし現狀はかく理想的に行かぬほど、各種の寄附募集行爲が横行してゐる。この點統制も亦已むを得ないであらう。實際現在行はれてゐる寄附募集は相當に多い。特に寄附するものにとつて一番厄介なのは時局に名を藉りて募集する寄附である。卽ち一般民衆、また家庭の時局に對する認識に藉口して殆ど强制的に行はれる寄附である。勿論一般の個人經濟にそれぞれ相應する餘力があれば問題はないのであるが、今日個人經濟にとつて稅金その他の公課ともみるべきものが、戰時態勢の深化につれてますます激增して來てゐることは事實であり個人個人の經濟上の負擔力はかゝる不要不急の寄附にまで應ずる餘力がしかく多くあるとは思はれぬ。なるほど個人の所得に對する總稅率は英國や獨逸に比較して遙に低い日本である。然し國民にとつて納稅は國家的の義務であり寄附はあくまで自助的、自發的なるものをその本質とするそこに問題があるわけである。

三

これらの惡質若くは無遠慮な寄附は從來寄附金品取締規則ぐらゐの統制規則では防止し切れなかつたのであらうが苟くも寄附募集行爲については今後その全部を許可事項とすることにする必要がある。ただその間、愛國班や町會や財源をもたぬ法人にあらざる組織が寄附によらざれば、なし得ぬ事業もあるのであるからこの點は當局の審議方針によろしきを得なければならぬこと勿論である。以上民間における寄附募集の統制はこの際我等の最も痛感してゐたことが當局によつて實行に移されることになつたもので、全く同慶の至りであるが、ただ一點この種の寄附募集行爲が官廳の名によつて行はれる場合も想像出來るといふことである。官廳は權力を伴ふ寄附行爲そのものに權力が伴ふといふのではないが、寄附する者の側にとつては、明かにその背後の權力を想像する。かくては寄附の本質を失ふこととなる。當局はこの點も併せ熟考して、折角の寄附行爲を滿爾なものにして貰ひ度いと思ふのである。

日本語の南方進出 文部省一元的に企畫

普及協議會（假稱）を設置

閣議決定

【東京電話】政府は五月廿一日決定せる大東亞建設審議會の大東亞文教政策に關する答申に基づき大東亞建設の基礎たる文教新體制の樹立を急いでゐたが、このほど南方諸地域に對する日本語教育ならびに日本語普及に關する成案を得たので十八日定例閣議に『南方諸地域日本語教育ならびに普及に關する件』を附議決定した、これによれば南方に對する日本語教育ならびに日本語普及方策は陸海軍當局の要求に基づき文部省に設置される日本語普及協議會（假稱）において立案、この教科用圖書も軍の要求に從つて文部省において編纂發行し、日本語教育要員配置派遣措置もまた文部省において行はれ大東亞文化政策の中核を文部省におくことになつたものである

南方諸地域日本語教育ならびに普及に關する件

南方諸地域に對する日本語教育ならびに日本語普及は東亞共榮圏建設上現下極めて喫緊のことなり、故に政府はその取扱方に關し左の決定をなす

一、日本語教育ならびに日本語普及に關する諸方策は陸海軍の要求に基き文部省においてこれを企畫立案すること、なほ右に關し日本語普及協議會（假稱、訓令による）を文部省に設置し、右方策に關する諸般の具體的事項を審議すること

二、南方諸地域の小學校において日本語教育のため使用する教科用圖書は陸海軍の要求に基き文部省においてこれを編纂發行すること

三、南方諸地域に派遣せらるる日本語教育要員は陸海軍の要求に基き文部省においてこれを養成すること

設置は來る十月ごろ

【東京電話】南方諸地域に對する日本語教育ならびに日本語普及の一元的施策立案の中心として文部省內に設置される日本語普及協議會（假稱）は來る十月ごろ設置され、文部次官を會長に陸海軍、外務各省ならびに企畫院その他關係官廳の委員によつて構成され日本語の南方進出に關する諸般の具體的事項を審議することとなつた

本年度先づ五百名

教育要員を三ヶ月間で養成

【東京電話】皇軍の赫々たる戰果に應へて泰、佛印をはじめフイリツピン、マレー、ビルマ、ジヤバなど南方諸地域にあつては堅實なる建設工作が着々と進められてゐるが政府は十八日の閣議において南方諸地域に對する日本語教育ならびに日本語普及に關する件を決定し、南方における日本語進出の具體的政策を今後一切文部省において一元的に企畫、立案することになつた、これにより文部省では省內に日本語普及協議會（假稱）を設置し、陸海軍をはじめ企畫院各關係官廳と緊密な連絡の下に具體的事項を審議するが差當り南方諸地域における諸學校の日本語教育の教科書は文部省で編纂發行する、これはまづマレー、タガログ、ビルマ、ジヤバ、安南、泰の六ケ國語にわけてそれぞれ成人向きの教科書を編纂するほか、中等、小學校の教科書も發行し、併せて泰語の簡易な會話、辭典の編纂なども進め本年度內に各地の事情に卽應したそれぞれの教科書を送出する、また日本語教育要員（日本語教師）養成のため文部省でこれが養成機關を東京に設置し、本年度約五百名の教員を約三ケ月の豫定で養成し、それぞれ各地域に計畫的に送り出すはずで、この養成機關は恒久的なものとして南方向けの日本語教師は一切この機關を通じて行ふこととなつた

印度暴動さらに擴大

武力彈壓、激昂に油

各地に民衆蜂起 官憲と衝突

【リスボン十七日同盟】ロイター通信マドラス電によれば、クムアコナム市（マドラス州）では十七日一萬餘名の民衆が蜂起し街路にバリケートを築き、石、煉瓦、ガラスなどを投げて政廳役人ならびに警官を負傷せしめた、警官隊は棍棒で群衆を撃退せんとして果さず、實彈を發射し死者一名、負傷者四名を出した、またマイソール市においては警官隊は蜂起せる民衆に向つて發砲、死者一名、負傷者二十一名を出したほか、鎭壓に出動した軍隊から若干の死傷者を出し警官隊も多數の死傷者を出した

好機は再び來らず

林國府宣傳部長 印度に熱烈な支援

【南京十八日同盟】國民政府宣傳部長林柏生氏は十七日華記者團との會見席上印度獨立運動に關し大要次の如き所信を披瀝し、熱烈なる支援を送つた

英國は印度を保守することが大英帝國の保全における極めて上策だと考へてゐるが實際その結果は世界の戰禍を擴大し樞軸國家および被壓迫民族の反英心を激化し、英國自身崩壞の速度を進めてゐるに過ぎない

印度獨立運動は正に大英帝國滅亡の挽歌である、一千六百年以來印度民族は英帝國主義者に侵略せられ牛馬の如き奴隸となること三百餘年、印度民族が奮起反抗したのは前後八十年間にわたつてゐる、英帝國主義者はこれに恐れをなし對應策を講じ强硬政策と懷柔政策と同時に併用した、强硬政策は武力的彈壓であり懷柔政策は挑發離間である

しかし印度民族は長期にわたる苦悶を體驗し再び强硬政策の脅威や懷柔政策の愚弄をうけることはなくなつた、今次のこの運動中において到るところ印度民族が獨立を戰ひとらんとする新しい精神および新戰略新陣容が看取せられる

林宣傳部長

第一 印度民衆はすでにガンヂー、ネール、アザット諸領袖指導のもとに獨立のために戰ひ、團結し横暴なる英帝國主義者が武器をもつて空手空拳の印度民衆を殺戮しようともまた懷柔政策をもつて印度各民族の合作を離間せしめようとはかつても印度の青年學生ならびに一般勞働大衆の勇敢なる革命的決心は如何なる暴力もこれを阻止する能はず、如何なる策術もこれを分裂せしめ得ないであらう

第二 印度民衆は『虎とその皮を剝ぎとる相談をする』やうな拙策をとるをはしまい、彼らは自力をもつて獨立をはかり完全なる自由を要求し英軍撤退要求の力强い叫びをあげてゐる

第三 印度民衆は最早『獨立を許す』などといふ空手形に滿足してはゐない、英國作戰のためには甘んじて犧牲となることはしない、彼らは祖國の獨立を要求し參戰に反對し米軍の印度進駐に反對し印度に第二戰線を結成することに反對してゐる

第四 印度民衆はもはや英侵略思想に迷はされることなくいまやただ民族獨立の決心のみならず東亞自覺の意識を持つに至つた、彼らは東亞各民族の同情をうけ東亞の立場において東亞保衛、東亞建設の一員たるであらう

これによつてみれば今次の運動はその精神、その戰略および陣容において民族獨立鬪爭の新しい意義が充滿してをり從來の運動とは異つたものである、横暴狡猾な英帝國主義は日暮れて道遠き狀態のもとにソ聯を誘惑し米國に哀願しひたすら印度保持をはかつてゐるがソ聯は間もなくボルガ河以東に退却するの餘儀なき情勢にあつて他を省みる暇がなく、米國また時機の餘りに遲きを知つて救助を見合すであらう、しからば英國は最後にその獨立を許すといふ空手形の策術をもつて印度との協力を交換しそれを犧牲に供するかも知れない

かゝる場合、もし戰に敗るれば印度の犧牲はもとより保證する術なくたとひ戰に勝つたとしても印度はさらに奴隸地獄に突き落されるのみである、大英帝國の末路がすでに運命づけられた今日、印度民族はこの際獨立を斷行せねば將來何時の日を待つといふのか、われらは印度獨立運動に對し全幅的支持を惜しまないものである

重慶焦慮を暴露す

【リスボン十七日同盟】印度の反英暴動は重慶政權に多大の不安を與へ、從來重慶が印度よりの物資援助に多大の期待をかけてゐただけに今回の事件に對する失望は甚だしいものがあり、印度問題解決についてはとくに焦慮してゐると傳へられる、卽ち重慶來電によれば、十六日同地においては國際平和運動支部の主催により大會が開かれ印度問題の速かなる解決を希望するとともにこれが解決の基礎として大西洋憲章の精神が適用さるべきことを主張、さらに訪印米特使らによる米國の調停をも希望するところあり重慶の焦慮ぶりを暴露してゐる

在印米軍も被害

【リスボン十八日同盟】カラチ（印度）來電によれば、印度駐屯米軍司令官フランシス・ブロデイ代將は國民會議派の反英不服從運動展開による印度の國內騷擾において米軍も被害をうけたと十八日言明した、同代將は被害の程度については說明を與へず、また米人死傷者を出したとの報道も傳へてゐないが、米軍が被害を蒙つた地域は直ちに米軍の警備區域外に置かれるとともに米兵が今後右の區域に出入することは禁止された

わが荒鷲 ポートモレスビーを强襲

【リスボン十八日同盟】米系情報が十七日夜半報ずるところによれば、日本航空部隊はまたもやポートモレスビー港を爆撃し、同港軍事施設に重大損害を與へた、今次空襲はとくに猛烈だつたと傳へてゐる

ス市へ僅か十五里

獨軍、全面的ドン渡河に成功

【リスボン十七日同盟】スターリングラード攻略の前哨戰はますます獨軍の有利に展開し情報によれば、クレツカヤ南部地區の獨軍は戰車ならびに急降下爆擊機を總動員して赤軍防禦線に猛攻を加へた結果十七日遂にドン河の全面的渡河に成功し目下同河北岸ならびに東岸を確保して赤軍と隨所に悽慘な白兵戰を展開中で、すでにある地區ではスターリングラード西北六十キロの地點に進出した模樣である、クレツカヤ戰線の發展と併行してコテルニコフスキー東北方地區においても獨軍の重壓はますます增大し夜に日をついで壯烈な大戰車戰が續行されてゐる、かくて北、西、南の三方面よりする獨軍のスターリングラード半月形包圍環は赤軍必死の防戰にも拘らずじりおしに縮められてをり、ソ聯各紙はスターリングラードの危機切迫を强調して最後の一兵に至るまで同市を死守せよと呼號してゐる

佛首腦部協議

【ストックホルム十七日同盟】デーリー・メール紙マドリード特派員が十七日報ずるところによれば、ラバール佛首相はパリよりビシーに歸還し、ペタン主席と何事か重要協議を遂げた、右協議にはとくにモロツコ總督ノゲス將軍のほかフランス陸軍の元帥でさきに脱退したウエイガン將軍も招かれたといはれるが、萬一聯合軍が大陸に向つて第二戰線を展開した場合の對策につき協議したものとみられる

朝鮮の行政簡素化

廿一日の閣議で決定

【東京電話】行政簡素化については去る七月二十八日および八月十一日閣議において中央、地方作業官廳の各實施案の決定を見たが政府は殘餘の道府縣、外地諸官廳、獨立官廳などの簡素化案についても關係各廳の積極的協力により愼重檢討中で、すでに大體原案を得るに至つたので來る二十一日の定例閣議に一括附議、正式決定をなすこととなつた、二十一日の閣議において決定されるのは

一、道府縣廳
一、朝鮮總督府、台灣總督府、樺太廳
一、南洋廳、關東局など外地各廳
一、樞密院事務局、司法裁判所、行政裁判所、會計檢査院、貴衆兩院事務局など獨立官廳

などで戰時下最緊要事たる行政機構の全面的簡素强化は一應整備されることとなつた、しかして政府は新機構により行政事務の運行を十月一日と決定し簡素强力案の決定をまつて直ちに各廳に對し改正完成案の提出を要求、法制局において調整のうへ逐次閣議に附議八月末までに悉く閣議決定として樞密院に御諮詢を仰ぐこととなつてゐる

總力聯盟の改組

道義朝鮮の建設に主眼目置く

指導委員會 小磯總督方針明示

小磯總督

總力聯盟指導委員會は十八日午後零時半から總督府第三會議室で小磯總督臨席各委員出席のうへ開催、先づ最初鈴川委員から聯盟改組問題の進捗狀況につき中間的報告があり、改組斷行は田中政務總監の歸任を待つて行ふと述べ、小磯總督から聯盟を改組するに當つては現在の總力運動を國體本義の透徹して道義朝鮮の確立といふことに着眼して改組する積りであると改組の方針を敷衍して說明、續いて波田聯盟總長から最近八日間に亘つて視察した忠南、全南北、慶南北の旱害狀況、聯盟の活動狀況についての報告、代用植物採集、貯蓄運動、親切運動、司法保護週間などについて說明があつて後九月の實踐申合事項を決定、最後に總督から旱害對策について聯盟として全般的に力を入れることは必要だが、特に旱害の最もひどい地方では當該道の聯盟と協力し集中的にやることが適切であると注意があり同二時半閉會した

政務はモロトフに

スターリン 國土防衛に專念

【リスボン十七日同盟】情報によれば獨ソ戰局の急激な進展にともなひ人民委員會議々長は身邊すこぶる多忙をきはめるに至つたので今回モロトフ人民委員會議副議長をスターリン議長の代理に任命、人民委員會議に關する諸般の事務處理に當らせ、スターリン議長はもつぱら國家防衛委員會議長として獨ソ戰局の挽回に當ることゝなつたといはれる

【モスコー十八日同盟】ソ聯最高會議幹部會は十六日モロトフ外務人民委員を人民委員會議第一副議長に任命、現下各人民委員部の全問題に關與せしめる旨發表した、現在人民委員會議にはモロトフ委員を含めて十四名の副議長がゐるが、スターリン議長は身邊多忙を極めるため今回新に第一副議長の地位を設けてモロトフ委員をこれに任命し、事實上スターリン議長代理として諸般の政府事務をとらせることゝなつたものと解される、かくてスターリン議長はもつぱら國家防衛委員會議長として獨ソ戰局の處理に當ることゝならう

寫眞（上）スターリン議長（下）モロトフ副議長

モスコー會談

戰略問題討議に終始か

ウエーベル參加注目

【リスボン十七日同盟】ロイター通信ロンドン電によれば、チャーチルはスターリン首相との會談開始に際し英帝國各自治領政府に前もつてその旨通知してをり、またルーズベルト、蔣介石とも緊密な連絡を保つてゐたといはれる、會談の內容については何ら公式發表はないが、第二戰線問題が協議の主題目であるとは明かであり、ロンドン消息筋ではモスコー會談は政治、もしくは外交問題を討議したのではなくほとんど戰略問題の討議に費されたものと見てゐる、一方ロイター通信軍事記者の報道によればアーチボルト・ウエーベル大將の會談參加は最も注目され これはコーカサスの防衛に關係があり、ウエーベルは目下イランに集結中の印度第十軍を指揮してゐる關係上現在コーカサスで防禦の陣を布きつつある赤軍援助に印度の軍隊が重大役割を演ずるのではないかと見られてゐる

聯合軍の窮迫暴露

【リスボン十七日同盟】ロイター通信ロンドン電によれば英首相チャーチルはソ聯人民委員會議長スターリンの招待により英國外務次官アレクサンダー・カドガン、參謀長アラン・ブルック、チャーチル侍從武官ゼーコブ大佐、同チャーチル・ピインソン以下全員十四名、米國代表駐ロンドン武器貸與連絡官エヴリル・ハリマン、西亞駐屯米軍司令官マックスウエル少將以下全員六名を帶同、三台の飛行機に分乘して十二日早朝ロンドンを出發、同日夕刻モスコーに到着した、一行は十五日まで四日間滯在し、スターリン議長、モロトフ外務人民委員、ウオロシーロフ元帥以下ソ聯最高當局と會見、聯合國の戰爭遂行策につき協議を遂げた右會談には英國側軍代表としてブルック參謀長のほか西亞空軍司令官アーサー・デツダーも參加し、また英印度軍司令官ウエーベルは一行より一日遲れ、十三日空路テヘランより來着した、さらに駐ソ英大使クラーク・カーも常時會談に參加した、在ワシントン對ソ武器貸與長官シドニー・スボルジンク、國務省ロシヤ部長ロイ・ヘンダーソン、駐ソ米大使スタンドレー提督、さらに米軍代表としては西亞米軍司令官マックスウエル少將の外先着の前米陸軍航空部隊司令官フオレツト・ブラツドレーも側面より米國代表團を援助した

英首相がモスコーを訪問したのは史上最初のことであり、チャーチルが七十になんなんとする老軀をもつてモスコーに乘込んだのは如何に聯合國にとり戰局が窮迫しつゝあるかを示すものである、チャーチルおよびハリマンはモスコー到着の十二日直ちにスターリンをクレムリン宮に訪問、四時間にわたり協議を遂げ、さらに第二日の十三日チャーチルはまづ外務人民委員モロトフと長時間にわたり談合したのち、スターリンと第二回會談を行つた、第三日はスターリン主催英米代表招待晩餐會、最終日の十五日はチャーチルおよびハリマン相携へてモスコー附近の郊外で休養したのち、夕刻スターリンを交へ英米ソ三國最終會談を行つた結果、戰爭目的貫徹につき重要な決定が行はれたといはれる

モスコーおよびロンドンでの公表では英米ソ三國の緊密な友好關係および相互の諒解を再確認したといふほか格別具體的な報道はない、ただチャーチルのモスコー訪問は東部戰線の戰況著しくソ聯に不利に發展しつゝある現實に鑑み、ソ聯が終始要求してゐる第二戰線の結成問題も討議されたとみられ、またソ聯の對獨抗戰力維持のため可及的に武器軍需品補給の方策が議されたことと推定される

北居南面

所謂『東部戰線の危機』のさ中にモスコー會談が行はれてゐる▲會談の內容については三國の何れよりも發表がないので判らぬが▲ソ聯への武器貸與と第二戰線の結成以外に問題のあり得やうがない▲尤も東亞の敗將英のウエーベルや米のマックスウエルやブラツドレー、そしてソ聯のウオロシーロフといつた武官が顏を合してゐるから▲對ソ戰の今後の作戰や、聯合國側の對獨伊聯合作戰が協議されてゐるかもしれぬが▲その何れのお題目を見ても、既に聯ざらしになつた出來ぬ相談事である▲英國首相の訪ソは史上未曾有のことだといはれてゐるが▲それ自體史上未曾有の英國の危機を示すものであらう▲結局チャーチルは第二戰線形成不可能の言譯と對ソ援助不履行の申譯に、スターリンをなだめに行つたのであらう▲馬鹿を見てゐるのはソ聯であるが、果してスターリンこの子供騙しに乘るかどうか▲尤もお尻に火がついたソ聯であつてみれば英米にお構ひなしに對獨抗戰はせねばならぬ▲そこがソ聯にとつて辛いところで、英米の總めぐらゐでは氣が晴れぬといふものだ▲會談に關する英ソの發表は三國の友誼と諒解を再確認したといふに過ぎぬが▲今更再確認しなければならなかつた三國の諒解と友誼だつたとすれば▲少くとも樞軸國にとつては懼くに足らぬ妄者の咀きである

人

◇鈴木伊勢治氏（金聯京畿道支部長）十八日楊平地方に出張

◇小川好一氏（京城府金會理所長）退官挨拶のため十八日來社

米、グルーに期待

ハル長官の輔佐役に起用か

【リスボン十七日同盟】ワシントン來電によれば外交官交換船グリツプスホルム號にて目下歸米の途にある前駐日米大使グルーは米國歸着後ただちに東亞問題に關する顧問の資格でハル國務長官の輔佐役となる豫定であると傳へられる なほグルーはすでにグリツプスホルム號上から國務省に對し戰爭遂行に關し盡力したき旨の希望を通達したといはれる

新勞働法案

米議會に提出

【リスボン十七日同盟】トランスオーシャン電によれば、米國人的資源委員會委員長ポール・マックナツトは今週中に政府に左の權限を附與する新勞働法案を議會に提出する旨十七日言明した

一、男女勞働力の軍需工場への供給
二、勞働者の職場移動禁止
三、勞働力の不足する米國各地への勞働者の輸送
四、職業紹介所の設置

浙贛作戰の全貌

殲滅す虎の子部隊

飢ゑに堪へ豪雨と闘ふ一ケ月

○○陸軍少佐現地視察の談

【東京電話】重慶最後の補給ルート浙贛線を遮斷すべく、杭州、南昌の兩方面から敢然協同して挾擊進められた浙贛作戰の全貌に關し現地を具さに視察踏査した○○少佐は十八日陸軍省において左の如く視察談を行つた

雨中の浙贛作戰

今回の浙贛作戰では杭州から敵第三戰區司令部の所在地である廣信(上饒)まで九十餘里を約一ケ月間に一擧に進攻したもので、この距離は上海、南京間よりもなほ遠い位である、この作戰の特徴は非常な大雨を伴つた點である、五月十五日作戰を開始してから六月末まで約一ケ月半この間に雨のふらなかつた日といつては僅か九日であつて、六月だけでも三度の大洪水があつた、從つて道路も飛行場も水びたしとなり飛行機さへも押し流されさうになつたこともある、後方からは彈藥も追及せず食糧も遲れるといふ狀態で作戰開始以來一ケ月間も兵站の補給ができないといふことは從來の作戰にはみられぬことであつた、彈藥は手持のもので大丈夫と安心してゐたし、また糧秣も豊富(玉山南方)で軍需米をドツさり鹵獲したから部隊は二ケ月位充分食つて行けるとこの方も心配しないといふことであつた、しかしこれは何分にも粗末な米で兵隊の飯を覗いて見るとまるで赤飯のやうに見える玄米飯であつた

見事敵の裏をかく

兵隊は作戰の餘暇に籾摺までやつてゐるが十分な玄白は出來ないので大體玄米で我慢してゐるといふことで副食物などことにお粗末なものであつた、兵だけではない、高級指揮官さへもかういふ粗食を甘んじて、雨また雨の戰を續けてをられたことに頭が下つた、今度の作戰は全く敵の意表に出たといふのは敵の判斷では『日本軍は或程度の進攻のあとは反轉してもとの線に引返すだらう』といふ風に考へた、すなはち金華までは攻略に來るだらうが從來日本軍のやつてゐるピストン戰術で反轉するだらうと豫想したらしい敵第三戰區司令長官顧祝同は四月末頃杭州から金華までの道路は全部徹底的に破壞するやう命令を下してゐるが、金華からさきの破壞は命令してゐなかつた、ところが日本軍は五月十五日進攻を開始して五月廿四日金華まで進出したのであるが、さらに急速に衢州に進出したので二日間に慌て、衢州までの道路破壞を命令したが、もう追ひつかぬため日本軍の前進は割合樂であつたと言へる

敵反擊を寧ろ期待

かくて衢州は六月四日に陷ち敵第三戰區本據である廣信(上饒)は續いて六月十四日に陷ちた、これらの重要地點が次ぎ次ぎに占領せられても未だ日本軍はピストン戰術をとつて反轉するといふ先入觀をもつてゐた顧祝同は、六月十八日日本軍が退却を開始したといふ判斷のもとに攻勢移動の命令を出した、しかし敵の諸部隊はいづれも不意を衝かれ混亂して逃走して來たもので勿論隊伍は整はない、指揮官は自己の部隊をも充分に掌握してをらないといふわけで到底反擊に出る氣力がない、一部中國的な反抗を試みるものも悉くわが軍のため擊退せられてしまつた、こゝで顧祝同は廿日になつて攻勢命令を取消すといふ朝令暮改の醜態を曝け出してゐる、一體我作戰軍は最初、金華、蘭谿の戰で敵を捕捉殲滅しようと企圖したが、敵は奥の手の待避戰法に終始したゝめ遺憾ながら大きな獲物は捕捉出來なかつた、何故我軍が金華、蘭谿の戰で敵を捕捉しようとしたかといふとこの地區の正面で非常に大事なところである、すなはちこの町は浙江省の東部沿岸な揚子江三角地に接壤してをり、これから重慶への物資が集つて來て、これから浙贛鐵道によつて奥地に運ぶといふ要地であり、從つて非常に緊要してゐた、『かういふ關係で易々と日本軍には渡すまい、頑強に抵抗するだらう』と重慶軍ではかういふ見透しで金蘭會戰において大戰果を收めようといふ方針のもとに進攻戰を指導したが、敵は張合ひのない待避戰法をとり衢州に逃げてしまつた

衢州脆くも陷つ

衢州はさすがに蔣介石がアメリカの飛行機を呼んで來て日本本土を空襲しようと企圖した手前もあるので、面目上からもこゝを死守しようと決意し衢州から後退するものは嚴刑に處すと申し渡した、この正面に出て來たのは蔣介石の虎の子の七十四軍は第九戰區中央軍の最精鋭部隊で蔣介石は之に對しては『長沙の尊美を傷けるな』といつて激勵してゐる、その意味は昨年の暮から本年一月にかけて日本軍は第二回目の長沙進攻作戰をやつたが、その際日本軍が長沙を撤退するに當つて中譯的な反擊を試みて來たのがこの七十四軍であつた、ところがわが軍の神速果敢な攻擊によりたちどころにして衢州が陷ちたために、その側方にある大軍もなすところを知らず折角の蔣介石の嚴命にもかかはらず衢州の防禦も頭に脆く潰え去つた、衢州防禦については敵は本年の一月から陣地を準備したもので非常に奥行きの深い陣地であつた、衢州直接の防禦陣地は中央軍の八十六軍が自ら構築し自らこれに據つて防禦したのである、防禦戰鬪に關しては十分なる計畫をもつてゐたにもかかはらず簡單に陷ちてしまつた、蔣介石は恐らく呆然としたであらう

浙贛線打通作戰

[illegible]

……ようやく到着した先頭部隊は衢州の南で日本軍と『はすかひ』の遭遇戰をしたちどころに四五百の損害を出して潰亂した

捕虜の多い戰爭

[illegible]……洪水に全滅しその際捕虜が出たといふ點もあるが、士氣が沈滯してをるといふ證據でもある、もう一つの例は敵の意表に出て敵の戰區の所在地まで奥深く入つて、軍事上の要地を急襲し重慶側の補給路線上の多量の軍需品を鹵獲したことである、以上の話で非常に敵の戰力が弱つたやうな印象を與へたやうに思ふが、しかし頭から侮つてかゝつてはいけない、蔣介石の直系軍その中でも七十四軍などはまづ相當に強い、衢州の南の大州鎭附近の戰鬪の際敵の歩哨が日本軍の包圍下におかれて再三こちらから投降を勸告したが、家屋に立籠つて頑として應じない、たうたう火攻めにかけられ最後の一人まで勇敢に戰つて斃れたのだ

天晴れ敵將校の死

同じく七十四軍の戰力を示す一つの例としてわが軍が衢州南方で山岳地帶を進んだ時非常に頑強に抵抗した、日本軍が高地を占領するとすぐ夜襲にやつて來る、擊退すると相當の損害をうけながらまたやつて來る、執拗に手榴彈をもつて肉薄して來るといふ抵抗振りをみせたものもある、また衢州の防禦に當つた八十六軍の中でも衢州掃蕩戰である家屋の中から敵の大隊長が單身悠々と現はれて來て、日本軍の前で從容として拳銃自殺を遂げたといふ見あげたものもゐた、金蘭から杭州の方へ行くと諸暨といふところがある、昔の越の都である、兵站部隊が衢州作戰軍に追及すべくこの諸暨平野に頭を突込んだ時、大水が出て全然動けない自動車部隊が軍需品を積んで衢州についたのはおそらく七月十日ごろと思ふ、そしてこの水がなかなかなけない、杭州から諸暨の間で約一ケ月間動けなかつた勘定である、そしてこの方面は食物がない、米なんか兵站部がないからなんとかなるが、野菜がない、作戰部隊の通つた後には兵站部隊の喰べる野菜がないそこで南瓜の蔓まで食つた、衢州に着いて關心をもつたのは米國機による對日空襲の基地とするために準備したと傳へられる飛行場がある、そこの飛行場はどんなものだらうかといふことであつた

好適地の敵飛行場

それは衢州平野の眞中にあり周圍に割りに着陸に障害となる鐵物などが全くない、かつ走路は舗裝をしてゐないが多少の石を入れて固めてあり、舗裝と全く同樣で立派な土質をもつてゐる、衢州城の城壁のところで人間の背が立たぬ位水が出た場合でも滑走地區一帶は膝までしかつかない、しかも終日雨が降つても翌日には綺麗に水が退けてしまうといふ排水に惠まれてゐるところである、平地の中で一番高いところで恒風の方向に一致してゐる好的な滑走路を持つてゐる、滑走路は幅百五十メートル長さ千一百米ある、私が見た各地の飛行場でこれに匹敵するやうなのは何處でも數へる位しかない

好妙なるその施設

また飛行場の施設として附屬建物がなく余くだゞ廣い中に滑走路とともに眼につくのは大規模な排水溝のみである、ところが飛行機を隱すための二本の退避路をもつてゐて、これに連絡する隱蔽設備が溝中に分散されてゐる、所在の地物を利用してゐるので空から見たのでは何の施設があるか判らない、とくに別に人工で造つたといふ點がさらに見えない、例へば一軒の家屋があるとその家屋を利用して爆彈の置場にしてある、また立木が數本あるとその立木を利用して油を入れる倉庫を造つてゐる、大岩の眞中を刳つて造つた露天の格納庫があるが、これにはノースアメリカン型爆擊機なら十機位入れることが出來る、私の見たのは一方の退避路であるがもう一つの方もほゞ同樣で幅が二、三十メートル、長さ二千メートル位ある、それをずつと奥までゆくと至るところに小さな道がついてをり、凡ゆる所在の地物を利用したいろいろな施設がある、全部で爆擊機だつたら三十五機位入れられる、燃料はこの飛行場から四里許り離れた處に置いてあつてオクタン價百の優秀な航空ガソリンを多量に貢獻した

敵抗戰力は低下

要するに軍事面における敵の抗戰力が漸次低下の一路を辿つてゐることは今次浙贛作戰について見ても明かで、重慶軍はいまや到底日本軍の進攻を阻止することは不可能であり、その能力を持合さないと見ることが出來る、明けても暮れても雨また雨茫々たる洪水中、百里に及ぶ大進攻作戰を行ひ、引つゞき燃えるやうな大陸の炎熱を冒していまなほ日夜衆敵を擊ちに擊ちつゝある全將兵の健鬪に對し滿腔の敬意を捧げる次第である

中共軋轢激化

西北公路も絶望視

重慶最後の日今や目睫に迫る

[illegible]

【北京にて川邊特派員十八日發】ビルマルートの失陥と浙江浙贛ルートの封鎖によつて最後的段階に追ひつめられた抗日重慶は唯一の殘存援蔣ルート西北公路の擴大工作に躍起となりはじめたやうである、重慶政權機關紙大公報も『抗戰第六年は西北ルート確保より外なし』とはつきり論じてゐるから、もはや重慶の西北政策は疑ひを差しはさむ餘地はあるまい、去月十四日重慶から新疆省に乘りこんで資源調査をとげた重慶政權經濟部長であり地質學者たる翁文灝は今日重慶に殘された唯一の對外輸送路は西北ルートである、同ルートによつてのみ援蔣物資は何ら敵の潜水艦や爆擊機の脅威を受けずして安全に重慶へ到着し得るのである、しかるに現狀ではソ聯のトラック輸送能力が限られた軍需品を毎日この公路で運んでゐるに過ぎない、西北ルートの擴大整備こそ重慶にとつて急務中の急務である、と視察談を發表してゐる

この赤色ルートとはソ聯のトルクシブ鐵道のセルギオポリとアルマアタの二驛を基點として陝西省西安に至るまで總延五千キロの自動車路で、セルギオポリから塔城を經て烏蘇へ、いま一つはアルマアタよりホルボスを經て烏蘇で合流し迪化、哈密、安西、蘭州、西安を貫く線である、この外ソ領アンジヤンよりカシガルを經て哈密に至るルートは天山南路と稱せられ哈密で本線に合流する、新疆と甘粛省境に位する猩々峡は赤の國境線を形成しソ支双方の自動車は茲より一歩も出入を許されず、物資は全部積替へざるを得ない、道路は全部近代的に舗裝され自動車トラックの運行はできるがその大部分の地域が黄土乃至は砂漠のため雨季と暴風に惱されることが多く、殊に西安、蘭州間は雨季には山崩れ晴天時には風塵甚しく自動車の運行は困難を極める 然も最近の國際情勢の急轉により現在のところではこのルート使用による重慶への軍需品輸送は皆無といつてよからう

また聞へられるところによれば外蒙庫倫から蘭州に及ぶ第二ルートの建設を急ぎ大部分の建設をみたが、バセレンゴルから蘭州間は砂漠と時に加へて濕地ときてゐるのであまり期待はもてまい しからば西北ルートの資源開發はどうか石油、石炭、羊毛の三大資源が舉げられる、石炭の埋藏量は約八百萬トン、主として陝西、新疆兩省に產出する、石油は新疆油田から年約三萬三千ガロンといはれてゐる、羊毛は年約四十萬ピクルで新疆、青海省に產する、いづれも現在自然のまゝ放置されてあり開發工作によつて增產の可能性は大なるものがある、こゝに重慶が西北地區を抗戰經濟の基地として垂涎する所以も ここに存する譯である

しかしこゝで問題となつてくるのは西北五省に居住する回教徒のあなどりがたき勢力であらう、これに對する重慶の懷柔工作は巧妙に進められ、情報によれば青海省一帶に隱然たる勢力を有する西北地方回教地騎兵部隊司令馬歩青を青海西部の開墾王伍に任命し西北支那の警備は蔣直系軍が當ることになつたといふ、かくて回教將領の勢力を封殺せんとする重慶の野望は漸次露骨化しつゝあるが、果して回教徒がいつまでも從順であるか多くの疑問をのこしてゐる 一方陝西省延安を本據とする中國共產黨に對する折衝も數回にわたつて繰返されたが、つひに中共側は最高幹部會の結果重慶側の要求を全面的に拒絶し、その反面中共は新疆省の赤化工作に乘出し優秀な青年黨員を表面新疆視察と稱し續々入疆せしめてをり西北を繞つて蔣共相剋は激化の光を見せてゐるので重慶最後の切札西北の中央化工作も以外に障碍多くその焦慮と苦惱は微妙な樣相を露呈しつゝある

公平なる解決要望

百貨店對小賣店問題　妥協點に達せず

[illegible]……の的になつてゐる百貨店側の配給機構是正問題に……機構の賦り口銭引下問題……すべき京城商議の商業……八日午後一時から同所……かれ總督府から中島企……、永富同課らが出席、……一議員はじめ飯塚、本……各議員および事務局側……事以下關係職員、問題の矢面に立つてゐる百貨店側から三越井百貨店組合理事長、赤尾同常務理事、京城服裝雜貨小賣商業組合からは山内理事長、藤家常務理事が出席、問題の性質にかんがみ特に部會を非公開として秘密裡に總懇談に入り總督府臨席官を中心として双方ともにそれぞれの立場を主張、四時間の長きに亘つて鎬を削つたが解決點を見出すに至らず結局小賣業者側の要望する百貨店の餌販賣引下は配給機構整備の建前からみて極めて困難であるから、これに代る妥協案を小賣業者においての研究立案のうへ具體案を商業部會部長へ提出せしめ、右具體案にもとづきさらに檢討を加へて解決に努めることゝし五時過ぎ散會したが、同部會の席上臨席の中島事務官よりこの問題について總督府當局は決して百貨店を擁護するにあらず至公至平に解決に努める旨を言明したことは注目される

歴史に顧る同祖同根 (1)

[illegible]……設の中核體たるの確信を堅持して、あくまで明澄快活、東亞新秩序の建設に邁進すべきである、勝ち征く皇國の榮光の中に今一度その〃同祖同根〃の囁きを追つてみようではないか

根の國に絡る由來

…朝鮮の神におはせし伊弉冉尊…

交流種族の隆盛

[illegible]

これらの民族を構成する種族の要素が、南ツングース、漢族、ネグリート、インドネシヤ、印度支那、蝦アイヌ等の六乃至七族からなつてゐることを觀ても察知されるのである

神代以前の考察

かうしてわれわれの祖先達は、五百萬年にも及ぶ永い進化過程の中に、歐洲として種族の交流を行ひながら槪めて有史――神話時代にはいつていつた、内鮮關係が說かれるのはこの神話時代からを節とするが、五百萬年にも餘る神話以前の沿々とした交流を想ふとき、内鮮同源の據察もまたこの神話以前に遡つて考察されるのが當然だらう、鳥居龍藏博士は内鮮關係は神話時代よりずつと以前の石器時代から始まると『有史以前の日本』に明かにしてゐる、〃日本の石器時代(神話以前)は、滿洲、沿海州あたりと連絡があつて、吾人の祖先はこれらの地方からも漸し來つたものと考へられる、これを證してゐるのは壹岐、對馬の

…石器時代…

の遺跡や、遺物がアイヌのものではなく、固有日本人のものであることで、これは内地と朝鮮との繋つてゐたことを意味するものである、これらの國津神の祖先即ち固有日本人は、朝鮮半島を經て、或は沿海州から日本海を渡つて日本に來たものと思はれる〃といひ、同じく西村眞次博士は『原始時代の交通路』に〃新石器時代に最も盛んに交通のあつたのは日本海を中心として円を描いた沿海州地方であつたと思ふ〃と神代以前に既に此地方を中心に盛んに種族の交流のあつたことを書いてゐる、かうしてわれわれの祖先達は盛んに移動と交流を行ひながら、神代へとはいつて來るが、かうした考古學的な裏付けの中にわれわれが世界史に比類なきまでに美しいあの數々の〃内鮮同源〃の神話を想出すとの決意を追つて來るのである

◇……◇

『根の國』の史實

伊弉冉尊は朝鮮から殿られた神き、それはもはやわれわれの祖先達が神話に描いた單なるロマンスではなく、儼然とした史實として、信ずると信ぜざるとに拘らずわれわれの前に〃同源〃だつたとの說もある、それは尊がおかくれになつたことを〃根の國へ隱れ給へり〃と古史にあるからいふのだが

江原道春川邑にある〃曾尸茂梨〃の遺跡

…根の國は…

黄泉國ともいひ、わが國では地球上實在の國ではなく人間が死後に行くべき國だと一般に傳へられてゐる、ところがこの〃死後に行くべき國〃といふ思想が一考に値するので、宮田博士は〃廣く世界の各人種に就いて調査してみると、漂流移住などによつて移動してゆく人種は、望鄕の念から往々にして死後はその祖先の國へ歸つてゆくといふ思想を持つてゐるものが少くない、この點からいふと、根の國は少くともわが帝國を形成してゐる種族中のあるものゝ祖國だつたと解される〃といつてゐる、ではその根の國はどこにあつたかといふと、伊弉冉尊は出雲と伯耆の堺の比婆山から行かれたことになつてをり、伊弉諾尊がその後御妻神を慕つてわざわざ根の國まで逢ひに行かれた時も、出雲の伊賦夜坂(黄泉平坂)から歸られたことになつてゐる

大八洲と根の國

これによると大八洲と根の國とは往復することが出來たのみでなく、その往復が常に出雲からなされたことを考へて、出雲地方と關係の深かつた土地にこれを求めるのが至當である、また素戔嗚尊がその御性格の御相違の餘り、遂に高天原を追はれて根の國へ行かれる途中(一說には歸られる途中)出雲の簸の川上で八岐の大蛇を退治された事なども、出雲と根の國とが

…地理的に…

關係の深かつた證據だ、そして根の國が確定的に朝鮮だといふことは、出雲で八岐の大蛇を退治された素戔嗚尊は、それから豫定どほり根の國へ行かれたのだ、このことを日本書紀には〃是の時素戔嗚尊その子五十猛神を師ゐて新羅にくだりまして曾尸茂梨の處にまします〃と明記してゐる

曾尸茂梨の遺跡

曾尸茂梨は舊說には江原道の春川だといひ、いまはその碑石まで建つてゐるが、近頃は種々の點から新羅の舊都たる慶州だとする朝鮮學者鮎原博士等の說が定說となつたやうだ また一說には〃熊成の峰にましまして遂に根の國へ入り給へり〃とも傳へ、熊成は熊川で、朝鮮の古語では川、津をナレといひ、百濟の都熊津、即ち今の忠南の公州だとする說もある、いづれにしてもこれによつて素戔嗚尊が〃母の國なる根の國〃に落着かれ、そこが朝鮮だといふことが判り、母神伊弉冉尊のお國が朝鮮だつたことが判る、このことはまた前に書いた有史以前の交流と想ひ合せて面白い吻合を待ち

…天地の初…

世界がまだ混沌として人も木も山もなかつた時、初めて國を創られた二柱の御神の中の女神が朝鮮の神だつたといふことは、内鮮同源を示して餘りあるものといふべきである

織協理事會

朝鮮織物協會では來る廿日午後二時半より纖維會館内の同協會事務所に常任理事會を開き、内地における綿スフ、絹人絹、羊毛、綿の各業種別統制會設立に伴ふ半島纖維界の對策について種々協議する

金聯異動(十八日附)

括弧内は舊職▲【販賣課長】太田興八命總務課長▲【敎務課長】河野定吉命販賣課長▲【總務課長】小口弘命敎務課長

第六期決算報告 [illegible]

法人登記公告 [illegible] 京城チツソライト工業株式會社 [illegible]

放水路四里を逆流

旱害征服 (3)

[illegible]

……四里を逆流せしめようといふのである、大山にしろ給水に飢ゑてゐるときだ、農場に水を與へることに決定される組合員の心境も考へねばならぬ、然し、何處でも米は米だ、大乘的な協定が成立した、農場主金子愛支配人が先頭にたち、小作人を總動員して七月五日東面水利組合洛東放水路の締切りを終り、いよいよ二日から二日間で、延人員千五百人、叺四萬枚を要し[illegible]に及ぶ洛東本流の堰切り作業を完了した、しかし重い船は飽まで通さねばならない、そこで職員百人、職員三名を現地に駐在せしめ堰堤を死守すること實に[illegible]間、或は上下する船を擔いで流し、或は崩れかかつたところを補給し、所要經費三萬七千円を投じたといはれる、[illegible]水は七月十日午後八時から晝夜にわたり行はれ[illegible]に及ぶ逆流作業である、結局東面水利地區及び下[illegible]に給水した結果に終つた、『何處に出來ても米は米なれば水を盗んだ盗まれたの問題ではありません』[illegible]人は當時の心境を語つた、續いて七月十八日午後八[illegible]夜の逆流作業が遂に成功して一齊に植付が開始され八月一日から五日間、枯死を救ふために給水された[illegible]ろの官民一體の努力に感謝してか、五日午後から五[illegible]沛然として慈雨が來た、もう大丈夫、生産者のこの喜びを傳へる言葉を知[illegible]田支配人の印象深い言葉をもつてこ[illegible]たい

『[illegible]は二十年水利事業に携はりましたが[illegible]した、恐らく驚く人は本當になさ[illegible]も知れません、枯れ萎れた稻の根[illegible]の水が流れると、見るみるうちに葉[illegible]むつくりと頭を擡げ、眼の前で青々[illegible]るのです、あゝその狂喜…』【寫眞＝旱害を乘越えた稻田の草取りと逆流する洛東の水(いづれも逆水揚場)】＝佐藤特派員記、松岡特派員撮影

水喧嘩は昔の夢

皆で旱害突破

波田さんの南鮮視察談

旱害克服に總力を結集する南鮮地方の聯盟員の活動狀況を一週間にわたり視察した波田朝鮮聯盟事務局總長は十八日朝歸城、農村の活動振りには感激させられた……と、次の如く語つた

【寫眞＝語る波田さん】

忠南、全南、北、慶南、北の五ケ道に亘り農村聯盟員の活動狀況をみてきた、七月から八月初めにかけ相當天候が惡かつたので心配したが官の指導は勿論のこと聯盟からも指令を發してゐたのだが農村聯盟員はよくこれを守り活動を續けてゐたのには全く感激した、一例を擧げると數里の地點から河を掘り水を引いたり、自分の田の植付が出來ない者は他の植付濟みのものを保全するやうに協力し、粟を四回も播いた處もあり、いよいよ水不足に心配しだしてからは浦江(井戸)を掘つたり用水溝を浚渫したり等よく天候を克服して豫想以上の植付が出來たといふことも各愛國班、村落聯盟員が總力を結集して共同作業をしたお蔭である

用水　池から配水する場合でも自分の田に番が廻つてくるまでは順序正しくこれを守つて今までのやうな水喧嘩の如きは絶えて起こらず晝夜の別なく働き、ことに婦人の活動も旺盛である

こんな風に何處に行つても聯盟運動が今回の天候克服に非常な力を發揮したといふことを官、民の聲に聽いたことは非常に愉快に思つてゐる、聯盟員のかくの如き活動に對して天も惠みを垂れたのか一部には水害を起した處もあるが去る五日以來各地に相當の降雨があつて農作物には非常によい影響を及ぼしたことは御同慶に堪へない、しかしながら一粒の米、一株の野菜でも増産せなければならぬ時だからこの天の惠みに安んぜず益々努力するやう各地の聯盟員に希望しておきたい、どうか都市の消費者たる聯盟員も村落の聯盟員のこの苦勞を考へ共に苦しみ共に樂しむ氣持をもつて益々食糧の節約に努力されたい

×　×

視察の途次慶北金泉邑の國語全解運動をみた、これは八月一日から九月廿日までの五十日間を期間として一齊に國語全解運動を開始してゐるのである、こゝで二、三の講習會場をみたが男も女も老人も若い者も愛國班毎に或は數部落の愛國班が聯合して晝間または夜間に講習會をやつてをり開講以來僅か十六、七日位ではあるが講師、生徒共に非常に熱心でなかには乳呑み子を抱いて講習を受けてゐるものも見受けた程で實に驚くべきものがあつた、その他の地方でも國語全解運動は盛んにやつてゐることと思ふがこの金泉邑の狀態はたしかに立派なものであると思つた

七千萬石突破せん

十年來の大豊作　農相報告

【東京電話】井野農相は十八日の定例閣議において岩手、宮城、福島の東北三縣下の視察狀況につき左の如く報告、本年の全國米作狀況に言及し本年の米作はきはめて好調でこの分でゆけば内地産米は七千萬石を突破し、あるひは昭和八年の産米額にも比すべき豊作に達し得る見込みである旨報告した

農相報告　岩手、宮城、福島などを視察したが近來降雨が適當にあつたので農作物には非常に良好であつた、殊に稻作は出穗前の天候よく、きはめて順調に成育し、土地の故老の談によつても昭和八年の豊作にも比すものがあるやうだ、その他野菜などの發育も良好で病蟲害も石油などの驅除劑の配給が円滑だつたゝめきはめて少いやうである、また木炭の増産に關してもさきに東條首相が親しく視察激勵され、政府の熱意がよく反映して炭燒きの國家的重要性がよく認識され相當の増産を擧げ得る見込みである、過般來農林省に集つた報告を綜合すると本年度の米作は全國的に順調な天候に惠まれてきはめて好調でこの分でゆくならば内地産米は七千萬石を突破し、あるひは昭和八年の大豊作にも比すべき豊作に達し得る見込みである

はや刈取り

農相の三縣視察談

【東京電話】井野農相はさきに宮城、福島、岩手三縣下の農事狀況を視察したが十八日の閣議でこの視察報告を行ひ東北方面の稻作狀況は極めて良好でこのまゝに推移すれば本年は全國的に見ても相當な豊作が豫想される旨報告、閣議を終へたのちさらに農林省で左の如く記者團に語つた

例年にない好天候に惠まれて東北方面では稻の分蘗もよく生育は十日位早いのでもう刈取りにかゝるところもある、肥料の不足も好天候によつて上手に使ふことが出來、病害蟲も農家の涙ぐましい努力によつて今のところ大した被害もないやうだ、ただ今年は朝鮮があまり芳しい成績をあげてゐないが内地に關する限りはこの分でゆけば相當な豊作は確實で私の會つた篤農家なども今年は昭和八年以來の大豊作になるだらうと話してゐた程だ、農村を歩いてゐると農民の増産への熱意のほどがよく判り木炭の増産狀況も見て來たが百何十度といふ暑い窯の中でよくあれだけ働けるものだと感心した、われわれは農民への感謝の心を忘れてはならない

興亞厚生大會

【奉天特電】滿洲建國十周年を慶祝する諸行事の掉尾を飾る東亞厚生大會は愈よ十八日から三日間日、獨、伊、中華の各正式使節、泰、蒙疆の各外交使節及び内外の關係者約百六十名出席、奉天において盛大に開催されたが、十八日盛大に行はれる開會式に引續き花電車を運轉し絢爛な優雅が街頭宣傳に花を添へる中に次のやうな多彩な行事が繰展げられることゝなつた

▲第一日　特別講演分科會、講演と映畫の『厚生の夕』

▲第二日　厚生運動大會『厚生の夕』

▲第三日　閉會式、夜は『詩と舞踊の夕』に掉尾を飾る

三分科會を開催　【奉天電話】興亞厚生大會第一日の十八日午後は三分科會を開催、第一分科會は大東亞と厚生運動、第二分科會は職場と厚生運動、第三分科會は家庭と厚生運動につきそれぞれ活潑な討議が行はれた

さうだその意氣

銃劍術の錬成

"ヤーツヤーツ"はち切れさうな氣合を籠めた銃後學生錬成の力強い掛聲が天日映える校庭一杯に流れ出る、これは城東中學が十八日午後一時から同校講堂で銃劍道振興會京城聯合支部結成のため來城中の日本銃劍道界の權威、陸軍戸山學校囑託江口中佐を迎へて銃劍道の指導と教授を受ける上級生九十餘名の講習會だ

胴着にいかめしい防具を着けた九十餘名の學生達は野口教官の號令一下基本動作に、互格試合に血の出るやうな猛演習、銃劍道を正科においてから三年の歴史に打樹てられただけに見入る江口中佐も會心の笑を浮べてゐる、次いで本試合眞劍をもつて行ふ假標刺突を最後に一通りの訓練を終へ江口中佐から正科として訓練してゐるだけに學生にしては珍しい出來榮えだと指導を兼ねた講評が約三十分に亘つて行はれ同二時三十分終了した【寫眞＝城東中學の銃劍術】

譫言にも作業命令

酷暑と闘ふ早瀬鐵道部隊戰記

【ラングーン十七日同盟】英、蔣聯合軍の徹底的焦土戰術によつて破壞された鐵路、鐵橋を一つ一つ修理し第一線と轡を並べて前進した鐵道部隊の勞苦、それは今次ビルマ作戰において特筆大書さるべき戰果であつた、しかも酷暑と戰ひはさらに勞苦、試煉を與へ幾多の尊い犠牲を生んだ、十六日陸軍省が發表の早瀬義夫少將(岡山縣)戰病死の報もその尊い犠牲である、この部隊長と鐵道部隊は如何に戰つたか早瀬部隊の長谷川三郎中尉(群馬縣)五反田秀徳少尉(大阪府)に鐵道部隊戰記を聞く

▼……▲　▼……▲

〇月〇日われわれの部隊は佛印から泰國々境に平和裡に進駐まづ泰佛印國境鐵道の建設に着手、さらにマレーに戰ひビルマに轉じて來た當時はラングーンが陥落したばかりで敵はこれから掃蕩戰を開始しようとする直前でわれわれは早速鐵道の再建を敢行すべく緊急その計畫に着手した、しかも遺された機關車は悉く敵が持去つたとか、鐵路は徹底的に破壞されてゐる等と悲觀的なものばかりであつた、部隊長もこの機關車の不足には非常に心痛してあらゆる方面に偵察隊を派遣、何とか機關車を確保すべく努力されたため辛うじて僅か七輌の機關車を得てトングーまで鐵路を回復せしめ全軍の前進を復活させたのである、その後マンダレー進撃の際まづ鐵橋破壞を最少限度に喰止める目標のもとに特別の裝甲列車を仕立て鐵橋の修復と鐵路を補修しながら快進撃を續けたのだが、鐵橋の修理も材料不足のため幾度か思はぬ勞苦にぶつかり徹夜作業を三晩も續けることがあつた、部隊長自ら陣頭に立つて敵中に突入し材料の確保に專念された、當時のマンダレー鐵道沿線の酷熱は百四十度を突破するといふ猛烈なものだつたため、鐵橋の鐵が熱して作業劑に水をかけねばならぬといふことまであつた、兵も將校も常に鐵橋の傍で夜遅くしながら一心同體の勞苦を共にして進撃した、鐵橋の修理のため腰まで泥に埋めその泥を落す暇もなく次の作業に取かゝる等といふことも幾度かあつた、しかし最大の難事業はマンダレー南方ミング河の大鐵橋の修復であつた、この頃よりビルマも雨季に入つた爲に日々河水が増水し昨日組んだ足場が翌日は水中に沒するといふ有樣であつた、この鐵橋の爲には部隊長自ら部下五名を指揮して敵地に潛行された程だ、この橋一つでマンダレー、ラングーン間の全鐵道が開通するのだといふことが部隊全部に滲透してゐたため幾多の無理も困難も克服され驚くべき短時日に完成したのであるが今思つてもよくやつたと思ふ、それからミートキイナに至るまでの全鐵路の修復、マラリヤ地帶を潛つての軍需輸送等鐵道隊ならではといふ困難もあつた、部隊長は常に部下の健康に氣を付けられ裸で作業する兵隊に『裸は蚊の刺す者が多い』と注意される程であつた、ラングーン、ミートキイナ間を距離でいふと東京、下關間の距離になりさうだからこの長距離をあれだけの短時日をもつて開通せしめたのも皆部隊長の努力の致すところであらう、その部隊長も七月末にマンダレー對岸で惡性マラリヤに罹れたのだが高熱に冒されながら最後まで作業のことのみをいつてをられた、その勞苦に對する熱心さ、それがこの間の鐵路を開通せしめたと思つてゐる

中學四年制は賛成

師範は昇格より増設

"半島の場合"を語る高橋教學官

學園から南方へ若き指導者を大量に送らうとの趣旨にして時宜に適した劃期的學制改革案高校二年、中學四年在學年限短縮及び師範學校の專門校への昇格が發表され大らかな夢と野望に滿ちた青少年學徒の胸を躍らせてゐるが大陸兵站基地の重責完遂に邁進しつゝある半島の學徒體制にはどう響くか、――大學への豫備機關たる高校(朝鮮では大學豫科)及び上級學校への基礎機關たる中學校が時代の要請に應じ戰時下臨時措置として其の在學年限を短縮されることなど高校、中學の増設困難な時局下まことに機宜の案であり、また高等師範を持たない半島としては師範の專門昇格は待望のものであるが右について總督府學務局高橋教學官の意見をきいてみる

『時代の趨勢からみて中學の四年制、高等學校の二年制は私も賛成だ、まだ具體案が決定したわけでなし採擇になるか否かも判然してゐないので批判がましいことはいはれないが半島學園としても當然中央案に追隨することとならう、特に中學の方は半島の中學を出て内地の高專に進學する人が多いのだから内地と同列にしておかなければ事實上の面であるし手續の円滑化も期し難いといふことになる、然し師範學校の方は事情が違つてくる、即ち現在の朝鮮は高度の師範教育よりも一人でも多く先生を學園に送りこまねばならぬ實情にある、この際必要なことは師範校の増設であつて昇格ではないと考へられる、以上は私見に過ぎないが更に根本的態度は内地の具體案に接した上でなければ何ともいへないと思ふ』

田原兵長ら無言の凱旋

故田原兵長以下〇柱の英靈は十八日午後七時廿分京城驛着列車で無言の凱旋をし府内西四軒町高野山別院に安置された

内地六大都市で朝鮮展

わが大陸國策の兵站基地として聖戰下の重責を負荷されてゐる躍進半島の熾烈なる愛國活動の實情と半島がもつ産業、經濟、交通、文化の燦然たる全貌を廣く内地に紹介して道義朝鮮の[illegible]を認識させようと、總督府情報課では今回内地の五大都市に『前進する朝鮮』展覽會を開催することになつたが、日程並に場所は次の通り

▲大阪＝高島屋(九月一日－六日)▲名古屋＝松坂屋(九月十五日－廿日)▲東京＝三越(十月[illegible]日)▲新潟＝小林百貨店(九月廿九日－十月四日)▲仙台＝三越支店(十一月三日－八日)

日本の醇風注入

大東亞留日學生會の事業計畫

【東京電話】東亞全留日學生唯一の教化團體としてさきに誕生した大東亞留日學生會ではその後着々事業開始の準備を進めてゐるが留日學生を將來民族協和の中核たらしめようとする同會の成立趣旨に共鳴した名士が續々支援協力の申出を同會に申入れて來てをり、十八日までに日本タイヤ社長石橋正二郎氏、石炭統制會々長松本健次郎氏、服部兵次郎少將、藤山愛一郎氏、東京海上社長田島榮一氏らをはじめ申込はすでに五十名の多數に上り、また大阪の同會關西支部では元大阪師團長吉住良輔中將を支部長に迎へた、同會ではこれら有志を『志士』その家族を『志士の家』と呼んで、五乃至十名の留學生をそれぞれの家庭に出入りさせ家族の一人として徐々にこれらに日本の醇風美俗を體得させ、このほか多數の純日本式家庭塾も設置し從來の個人主義的な寄宿舍に代らせるため第一着手として神奈川縣高坐郡海老名町上今泉の元胎中代議士別邸を『大東亞留日學生修練道場』にあてることになつた、また秋までに禊道場、大浴場などの設備も完成の豫定で百人位收容するものとするはずである、なほ同會では婦人部が中心となり九月初め小石川後樂園に大東亞各國留日學生二百餘名を集め第一回學生大會を兼ね大懇遊會を催すが、東條首相夫人、松平俊子夫人らも參會し留學生に家庭的指導の手を差し伸べることになつてゐる

巡視の小磯さん

税務監督局を電撃

着任して恰度二ケ月目の十八日、小磯總督は退廳時間の四時をすぎること十五分、大野秘書官を伴つて太平通の税務監督局を訪れた、局長室で高等官一同に接見、一時間にわたる關口局長の管内狀況報告を聽取してのち二階より三階と廳内を巡視屋上に登つて俯瞰してから一階に下り分析室、鑑定室、地籍協會などを隈なく巡視し、それより三階會議室に參集した職員一同に柔かい口調で國體の本義、道義朝鮮の確立を説き同六時官邸に車を走らせた

起重機を死守

老原住民へ感激の賞詞

【バタビヤ特電】(十七日發) 皇軍の焦土戰術に抗し身命を賭してスマラン港頭の起重機を守つた老インドネシヤ人の感激的行動がこの程同港を視察したジャバ派遣〇〇部隊によつて明かにされ、十七日〇〇部隊司令官から原住民として初めての感謝狀と金一封を授與された、この榮譽の主人公はスマラン市ベダススタリート一〇三に住むソレー(六七)といふ老人でスマラン港の起重機運轉係として雇はれてゐたが、去る三月一日皇軍がジャバに上陸するやオランダ軍は他の諸都市と同樣スマランでも焦土戰術を命じ、同港の諸施設の[illegible]を破壞し[illegible]た、ソレーは自分の起重機の上からこのオランダ兵の[illegible]を浮かべて見つめてゐたが遂に港の機械にも順番が廻つて來た、兵隊と巡査がピストルを突きつけて破壞を命じた、ソレーはオランダ兵の前では嫌々ながら應じたものゝ彼等が立ち去ると直ちに破壞用ガソリンを海中に投げ込み、破壞の機具は全部隠してしまつて起重機には車に鍵をかけて自分は凡そ廿間程離れた小舍に潜んだ、然しやがてオランダ兵が歸て來て命令が實行されてゐないのを發見、附近の苦力を集めて起重機を破壞しようと試みたが、この起重機を操作出來るものはソレーの外になく遂にあきらめて歸つた、それから四日目、僅かに火を[illegible]しながら起重機を守り通したソレーは皇軍を迎へる[illegible]の[illegible]を聞いたのである、[illegible]と化したスマラン港頭に唯一つ聳えるソレーの起重機、それを仰いで皇軍將兵とソレーは感激の握手をしたのである

夕刊 京城日報

行政は現實に即し "非常時の頭"から出發

局長會議上 小磯總督所信披瀝

小磯總督は十八日の定例局長會議において着任以來屢々聲を大にして強調し來つた『行政は現實に即せよ』の理念を今次の中南鮮方面における旱害對策に取り上げて反復強調すると共に官紀の肅正、半島の紹介宣傳、國語常用など總督が包藏する所信を四項目に分け次の如く披瀝した

行政は現實に即せよ

行政政治は現實に即しなければならぬといふことは着任以來反復強調した次第であるが、平時には平時のことをなし非常時には非常のことをなすといふことは當然のことである、戰時には何を措いても戰爭に勝つために總ゆる施設を集中せなければならぬ、而して現在朝鮮は旱害、水害が部分的に發生してゐることは卽ち非常時である非常時には非常時の處置を採らなければならない、平時に對する頭でなく非常時に對する頭に轉換して仕事をしなければならぬ、過般旱魃被害地を視察した感想であるが、昭和十四年度の旱魃の經驗にも拘らず旱魃に對する施設對策に對して研究と氣構へとが十分とはいへない、一例を擧げれば簡易貯水池の建設であるが自分は決して技術を卑下はしないけれども然し中には技術的見地に拘はれてこれが建設を躊躇してゐる嫌きは最もよくない、簡易貯水池の必要を認めたならば總ゆる條件を克服してどしどしつくつて行く努力が欲しい、これが非常時に對する頭の轉換といふものであり行政が現實に卽應する所以でもある

官紀肅正につとめよ

自分は着任以來今日で二ケ月であるが吏道刷新、官紀は絶へず強調してきたのであるが着任以來の報告によると官吏と民間人の間には改めなければならぬ關係が多い、殊に地方においてかゝる噂を聽く各位は官紀肅正に對し一段の努力をされたい

朝鮮事情を宣傳せよ

自分は内地で仕事をした經驗からすると朝鮮が内地にハツキリ認識されてゐない憾みがあるといふ感を深くしたのである、もつと朝鮮を内地人に認識させる必要がある幸ひ産業方面では漸次に朝鮮に對する認識が深まりつゝあることは結構であるが、更に全般的に内地に對し朝鮮事情を宣傳紹介する必要がある

國語常用を徹底せよ

朝鮮の皇民化といふ點から考へて極めて肝要なことである、自分は國語常用に關しては從來の方針をそのまゝ踏襲するばかりでなく更にこれが徹底強化を圖つて行きたい

定例局長會議

總督府定例局長會議は十八日午前八時半から第三會議室で開催、上瀧殖産局長からさば、さんまの漁獲高の報告、倉島情報課長から内地五都市で開催される『前進する朝鮮』展覽會についての説明、伊藤司政局勅任事務官から來る九月十五日の滿洲國建國紀念式典に際し朝鮮側から官民卅九名が參列する話報告、鹽田企畫部長から朝鮮における自動車の今後の増産計畫について報告があり、引續き各所管下の水害狀況並に對策に對し鈴川司政、丹下警務、諏訪農商、山田鑛道各局長、眞原殖財課物價事務官から詳細報告があり、最後に小磯總督から別項の如き訓示があり同十一時閉會した

チャーチル露都へ

【ベルリン十七日同盟】十七日デーエヌベー通信の報道するところによれば、英首相チャーチルはさる十三日モスコーに到着、スターリン議長その他ソ聯首腦部と會談を遂げた

獨、俄然總攻撃に轉ず

赤軍、全面的に敗退

【チユーリツヒ特電】（十七日發）スターリングラードの北西及び南西の兩方面から同市を距たる四十八キロの地點に達したドイツ軍は愈よスターリングラードに最後の止めを刺すべく十七日朝來全線に亙つて一齊に總攻撃に轉じたもの、如くである、赤軍は漸次後退を續けてゐるが殊にクレツカヤ地區ではドイツ軍は赤軍陣地深く楔を打ち込むことに成功、イズベスチヤ紙もこれを認め、次の如く報じてゐる『クレツカヤ南東地區において赤軍はボルガ河方面より到着の増援部隊を得て肉彈的抵抗を行つてゐるが壓倒的多數のドイツ軍の猛攻撃により事態は極めて重大である』

【リスボン十七日同盟】ロイターモスコー電スターリングラード西北クレツカヤ地區のフオン・ボツク元帥麾下の獨軍は十四日ドン河彎曲部でかつてないほどの進出を行ひ新陣地を確保するに至つた、さらに十五日にはドイツ軍はドン河の渡河點に殺到、急を聞いて馳せつけた赤軍歩兵部隊と徹宵大激戰を展開した、この地區では赤軍は現在優勢な獨軍を前に逈して終日凄絶な大激戰を繼續中である

グローズヌイ油田危し

獨軍、突如新行動

【ストツクホルム特電】（十七日發）ユーピー通信モスコー來電＝スターリングラード南方二百四十キロのカルモイツ自治共和國首都エリスタを一擧に衝いてボルガ河口の要衝アストラハンを目指して東進を繼續中のドイツ軍部隊は、十七日突如その進撃方向を南と西に轉換ロストフ、バクー鐵道に沿つてグローズヌイに向け進撃中のドイツ軍主力の翼側擁護の爲、東北方より同じくグローズヌイ目指して南下を開始した模樣である、右に關しソ聯軍當局ではエリスタ方面より進撃中のドイツ軍は北コーカサスとソ聯本土間の連絡を完全遮斷すべく盆地たる草原地帶をグローズヌイに向け南下し始めており、ドイツ軍機械化部隊の高速度をもつてすればソ聯側がグローズヌイ油田の破壞を完了する以前にグローズヌイに到達する虞れあるとの見解を述べ今次ドイツ軍の突如たる新作戰によりグローズヌイの危機がいよ〳〵切迫すると共にソ聯側戰略に一蹉跌を來したことを容認した

黑海、裏海も危機迫る

【リスボン十七日同盟】黑海岸ならびにカスピ海岸の二方面に對する獨軍の進撃はいよいよ熾烈の度を加へた模樣で十七日夕刻まで當地に達した情報を綜合するにミネラリヌイ、ヴオドイ礦泉地區の赤軍は總體的優勢を持する獨軍の猛攻をさゝへきれず再び新陣地に撤退した、さらに戰車隊を先頭とする他の獨軍部隊は起伏する丘陵地帶を決河の如く東南方に猛進中でグローズヌイ油田地帶の危機はます〳〵擴大しつゝあり、獨軍先遣隊はすでにグローズヌイ目睫の間に迫つたといはれる、他方クバン河下流地域で南岸に進出した獨軍はノヴオロシースク軍港目指して潮の如く進撃中ですでに赤軍據點數ケ所を占領、目下山岳地帶と鬱蒼たる森林地帶で疲勞の極にある赤軍の捕捉殲滅戰を展開中で、黑海に面するノヴオロシースク、アナパ、ツアプセなどのソ聯殘存港灣は今や重大脅威に曝されるに至つた

【ベルリン十七日同盟】獨軍司令部十七日の發表によればコテルニコフスキー地區南方で作戰中の獨軍はカルムイ自治共和國の首都エリタを屠つたのち、さらに東方に向つて草原地帶深く突入、すでに赤軍據點數ケ村落を制壓して一路ボルガ河口に向つて猛進中である、かくてボルガ交通路の死命を制するアストラハンに對する脅威は頓に増大するに至つた

コーカサスの危機

ソ聯紙も絶叫

【リスボン十七日同盟】十七日のソ聯海軍機關紙『赤色艦隊』はノボオロシースク、ツアプセ、アナペの各港に對する獨軍の猛攻撃は十六日以來いよ〳〵熾烈の度を加へるに至つた旨を認め、コーカサス戰線の危機を繰返し強調してゐる

獨軍戰況發表

【ベルリン十七日同盟】獨軍司令部十七日發表

東部戰線 一、クバン河下流南部地區およびコーカサス西北部の獨軍は進撃續行中である

一、ドン河彎曲部東北地區ではソ聯軍は完全に敗退した、この方面の殘敵掃蕩戰は目下進捗中である

一、ヴイアズマ東部およびルジヨフにおいてソ聯軍は猛烈な防戰に努めてゐる

對英戰線 一、海峽方面の我が重砲隊はドーバーの敵基地を砲撃した

一、ドイツ西北部および西部占領地帶に來襲せるも獨軍は四機を撃墜した

一、十六日夜獨戰鬪機合艦隊は英本土中部および東部の敵重要基地に爆彈の雨を降じた

北阿戰線 一、獨空軍は北阿において空中戰により英機十四

【ストツクホルム特電】（十七日發）ロイターモスコー電によればスターリングラード北西方クレツカヤ地區のドイツ軍は當地東南方の第一線に對し過去二日間に亙り數百の新戰車を續々增強してソ聯陣地に息つく暇ない猛攻を繼續中であり、これに對しソ聯軍も增備軍を大規模的に前線に繰出して兩軍間に目下必死の激戰が展開されてゐる

伯國船撃沈さる

【リスボン十七日同盟】リオデジヤネイロ來電によればブラジル政府はブラジル輸送船一隻が同國海岸沖合で樞軸國潛水艦の攻撃をうけて撃沈された旨十七日發表したなほ同船はブラジルが樞軸國との外交關係を斷絶して以來十二隻目

敵船喪失二千萬噸

獨開戰以來の戰果

【ベルリン十七日同盟】獨軍司令部十七日正午發表によれば獨潛水艦、艦隊ならびに空軍は、八月一日より同十七日に至る期間中に聯合國船舶六十五隻合計四十八萬トンを撃沈した、これによつて開戰以來獨軍により撃沈された聯合國船舶は二千萬トン以上にのぼつた

南支の護り備りた曉の警備隊（電送＝檢閲濟）

英十四機撃墜

伊軍戰況發表

【ローマ十七日同盟】伊軍司令部發表

一、エジプト戰線における彼我先遣部隊の交戰は熾烈化し空中戰もこれとともに活況を呈し獨戰鬪機隊は英戰鬪機隊と壯烈な空中戰を展開、英機十四機を撃墜した

一、英空軍はマルサマトルー、トブルク空襲し來つたが被害輕少の模樣である

英ソ同盟再確認

モスコー會議の内容

【モスコー十七日同盟】英首相チヤーチルのモスコー訪問に關しソ聯政府は十七日次の如く發表した

英首相チヤーチルは八月十二日より同十五日の四日間モスコーに滯在、スターリン首相と協議を遂げた、右會談において兩國政府首腦は戰爭遂行に關し重要決定に到達、英ソ兩國はドイツならびにその歐洲における同盟諸國に對する兩國の同盟を再確認した

英側發表全文

【リスボン十七日同盟】ロンドン來電＝チヤーチル、スターリン會談に關する英政府の發表全文次の通り

ソ聯人民委員會議長イ・ウエ・スターリンと英首相ウインストン・チヤーチルとの間にモスコーにおいて會談が行はれ米大統領代理としてエブリル・ハリマンもこれに參加した、その他ソ聯側參加者は外務人民委員ベー・エム・モロトフ、カアエ・ウオロシーロフ元帥、英側は駐ソ英大使クラーク・カー、英參謀長アラン・ブルツクほか英軍代表數名ならびに外務次官エイ・カドガンであつた、右會談に際しドイツならびにその歐洲同盟諸國に對する戰爭の全分野にわたり種々の決定に到達した、會談は完全な友好かつ眞摯の裡に進められ聯合國としての關係に基きソ聯、英國、米國の三國間に緊密なる友誼と了解が存在する事實を再確認する機會を得た

カスピ海へ百廿粁

【リスボン十七日同盟】ロイター通信ロンドン電＝十七日午後のビシー放送によれば、獨軍は遂にカスピ海より百廿キロの地點に到着した

南鮮地方視察の收穫

最高政策の最下部への滲透

田中總監、釜山で語る

【釜山にて岡林特派員發】南鮮の旱害視察行を終へ、釜山松島ホテルに一泊した田中政務總監は十八日朝釜山棧橋出帆の連絡船で西廣慶南知事等官民多數の見送りを受け、滯京十日間の豫定で松坂秘書官を帶同一路東上の途についた、去る十五日京城發、全南北、慶南の勿度巡視をかねた田中總監の旱害視察行は極めて短期間の超スピード行脚であつたが、旱害と鬪ふ農村の實態に直接觸れた總監の生々しい實感は抱懷する朝鮮統理の構想に果して如何な影を投じたであらうか――、朝鮮の當面する問題は徵兵制の實施、食糧問題、行政簡素化、海事行政の一元化問題等々頗る多い、これ等の諸問題を携へて中央の要路に説明、折衝せんとする總監今回の東上の目的にとつて、この南鮮視察はその具體的展開に對して打たれた第一石として注目を要するものがあり、それだけ今回の總監の東上を意義づけるものであらう、田中總監は出發を前に十八日宿舍松島ホテルで記者團と會見、次のやうに語つた！

徵兵令實施問題

徵兵令の實施問題は重大な意味をもつものであつてこれの準備訓練の内容、方法については着々話を進めて來る、勿論諸統制の強化に伴ふ内地と外地との關係は當然同一方向を取られるものであるが具體的諸點については相當研究を要するものが多く一步認識を誤ると大きい危險を生ずることにならう、そのために實際の説明を爲となして働くことを要すると考へてゐる

行政簡素化問題

新しく總理の衝につかれたものとして半島統治上諸般の情勢を中央政府に報告し篤と懇談を要する點が多いについては懇談し、着任して得た經驗についても充分に説明をなしてゐることが東上の目的である、その中の數項についていへば行政簡素化は直ちに成立するもので一に法制局の手續にある、よつて發令は多少遲れるかも知れぬが九月中旬にはその點も完了し得る見込で、その上はどし〳〵實行に移す考へである、これは同時に總力聯盟の機構問題にも觸れて來ることにならう

農村再編成問題

この度の旱害地方視察は多分に政治的な意味が含まれてゐたものであつて、これと農業問題に對する政策とを同一に混同して貰つては困る、米一粒をも大事にさせると云つたことがこの角度における考へであつた、見て來た方面には棚田が相當發達してゐたが、これなどは米作一の商品生産制に束縛されてゐたことの最も大きな不合理な面である、これを解決することは根本的な問題であつて農村再編成を實行することである、農村の再編成は國土計畫の最大な面であり朝鮮にあつては根本的な問題でもある、このやうな考へ方に於て農村再編成は是非一つ實行しなければならないものであらう、これについては詳細な研究準備を進めてをり逐次實行する組織をつくることにしてゐる、この點内地においても國土計畫との關係では研究も進んでゐない、方法においては指導のやり方如何では朝鮮はまだ反當收量の増加をなし得るであらうが、いまこの耕作面積を減少させることは重大な問題である、またこれまでの農村再編成は農家經濟を主としたもので如何にその取得を増大するかにあつた、朝鮮は先づ農本主義から出發して行くべきものと思ふ、卽ち擴得を度外した勤勉な農民をつくることから始まるものであらう、内地でこれらの諸研究家指導者にも會つて意見を聽いて來る積りである、さうして實行にどし〳〵入つて行く、この視察行を總括してみると、總督府の最高政策なり方針を如何に最下部まで滲透させるかに大いに得るところがあつた

無差別爆撃！

反英デモに英機の暴擧

【ストツクホルム特電】（十七日發）リスボンに達した印度よりの情報によれば、十六日午後ルクナウ市内に民衆の反英デモが繰展げられた際、突如イギリス機八機が上空に現はれ折から群をなして市内を練り歩いてゐた民衆及び附近の民家に對し高性能爆彈を多數に投下、卅分に亙り無差別爆撃を行ひ、忽ち市内の大半は破壞され或は火災を起し、民衆の死骸は累々として山と積み瞬時にして阿鼻叫喚の巷と化し去つた

印度婦人起つ

【ラングーン十七日同盟】印度獨立聯盟ビルマ支部主催『印度獨立聯盟母の會』は十七日午後四時半よりラングーンエリヤ劇場に於て印度婦人數百名參集して開催、劈頭イナノ女史起つて印度の獨立解放の決議を貝しさらに各代表『印度の獨立は、われら母の手によつて達成しよう』と紅唇に氣焰をあげれば滿場の婦人もこれに和し盛會を極めた

今こそ好機

重慶よ覺醒せよ

好富部長情報語る

【南京十七日同盟】國民政府林宣傳部長の印度獨立援助表明に關聯し、南京大使館好富情報部長は十七日左の如く語つた

阿片戰爭終末百周年の廿九日を控へて國民政府が英帝國主義のために苦しめられてきた印度獨立運動に對し援助を表明したのはまことに意義深いものがあるまた最近重慶側各紙が一齊に印度彈壓を非難し『印度に自由を與へよ』と筆陣を張り反英態度を表明するに至つたことは注目すべきである、重慶も遲ればせながら英國のアジヤ政策の正體がなんであるかを漸次認識しつゝある、重慶當局もこの際さらに覺醒せねばならぬ

回教徒聯盟運用委員會續行

【リスボン十七日同盟】ボンベイ來電によれば、國民會議派の反英不服從運動に對する回教徒聯盟の態度を決定するためボンベイに開催中の回教聯盟運用委員會は十七日も會議を續行した、十五日午後の會議はジンナー總裁が國民會議派の反英決議に對し戰爭に自己の見解を披瀝したに過ぎなかつたが、十七日の會議終了後同派の態度を正式に表明する聲明が發表されるものと見られる

チヤーチルの訪ソ

五回目の海外旅行

【東京電話】歐洲戰爭勃發以來チヤーチルが海外旅行に出掛けたのは今回のモスコー訪問を入れて五回である、すなはち第一回目は昨年六月フランスの降服直前佛政府に對獨戰續行を要望したときである、ついで第二回目は昨年八月十四日プリンス・オブ・ウエールズ艦上でルーズベルトと會見、大西洋憲章を制定した際であり、第三回目は同十二月戰艦デューク・オブ・ヨーク號に座乘、大西洋を橫斷同月二十二日アメリカを訪問したのである、チヤーチルは十二月廿六日米上下兩院合同會議席上一場の演説を行つたのちカナダに赴き再びワシントンに歸來、一月二日米英ソ三國をはじめ二十六ケ國參加のうへ反樞軸同盟條約の調印を了した、第四回目は本年六月の訪米である、すなはち同月十八日着米後ルーズベルトと數次にわたり協議を遂げ同月二十七日ロンドンに歸着した、第五回目は今次のモスコー訪問である、なほ大戰勃發以來ソ聯を訪問した英國の閣僚は外相イーデン、國璽尙書クリツプス、駐ソ大使としてビートパーブルツク（供給相當時）の三名である

ウエーベルも參加

【リスボン十七日同盟】聯合國首腦部によるモスコー會談に印度軍司令官兼西亞軍司令官ウエーベルも參加したことは、同會談の軍事的事實を觀察する上で重大な意義があるとロイター通信が報ずるところによればウエーベルは最近イランに新設された印度第十軍の司令官をも兼ね今後の獨ソ戰の推移に備へ待機の姿勢をとつてゐるが、モスコー會談では主としてコーカサスの防衛及び第二戰線展開に關する戰略の討議に際し重要發言を行つたものと見られる

時の錄音

我が驅逐部隊による敵の撃沈船舶、開戰以來百十七隻、八十八萬四千トンに上る。

×

殘表二億四千萬方キロ、涯しなき大洋に索敵するだけでもただ事ではない。

×

しかも、光と大氣から隔絶された世界に默々として戰ふ將兵の苦心を想へ。

×

佛印の華僑翻然抗日から協力へ起ち上る。賢なる打算ではあるまい。

×

來り投ずるものはこれを拒まず。相携へて行くは東亞共榮の道。

×

奮ひ起つ旱害農村。天災征服の御勅諭（以下略）。

人

◇本田秀夫氏（殖銀大阪駐在理事）新任挨拶のため十八日本社來訪

◇江原聖旭氏（三和券番社長）新任挨拶のため十八日本社來訪

◇松川宮代助氏（同常務取締役）同上

◇清水洋佑氏（同上）同上

◇堤長次警部補（京畿道刑事課勤務）同上

◇蠶茂德警部補（同上）同上

武漢地區舊法幣廿四日以降禁止

【漢口十七日同盟】武漢地區においては來る廿四日以降舊法幣の流通は全く禁止されるので、右期間内に新舊法幣の交換を行ふやう十八日附左の如き軍當局談を發表

新舊法幣の交換は來る八月二十三日をもつて終了、廿四日以降舊法幣の流通および携帶は全く禁止せらるべくされば日華人ことに華人においては當局の指令指導を受け交換實施期間内に手持舊法幣を速かに新券に兌換すること極めて必要なり、若しその機を失し使用および携帶禁止の後にいたりその財を無に歸することなきやう特に注意するを要す